



新製 甘露漬

茲之甘露漬と唱へ湖産乃新の胎味期を撰ば尚其程を鑒持て從來比鮮酢の如き奇真味  
 去り酸味を祛んて我考究美淋漬の新製と創り爾東河主顧方之品評を河公漸く数年乃  
 意匠適ひ若蓮酒上とも忌嫌の高海を南へ晚近西原を地術籠顧は江清膏用を蒙り自  
 月上供膳候事相其奉家之此面自此事を次々矮橋を琵琶湖上枕と夏の納涼石山の華火は良比  
 観雲副より士奉は海にる三山に討ひ返響の趣あり四時湖山の勝景は領一三井石山乃伽藍唐崎の  
 松矢走山田勢多の航路のつとも里程不充たに風波順便に地理天然の航線なれば棹夫も丈夫を雇ひ  
 皇朝より他行旅方は時不暇もに樽詰箱籠袋包遠近に河土産物進物等輕便に経も風味  
 多し此甘露漬と相違けり賑々敷く愛敬と希なり

近江乃國せ映波樓主人 坂本屋九右衛門

甘露漬御用法は湯茶に浸るより其後餘は如く清割る事以又此品を痢病其他胃腸の  
 邪熱を去り暴瀉を治る産前後の方の特効こと世上一般御慈知乃通に流る

取次賣弘所 西 先斗町 竹村屋  
 京 新橋通 升屋  
 西替町二條 堀屋

9 20 1 2 3 4 5 6 7 8 9 30 1 2 3 4 5 6 7 8 9 40 1 2 3 4 5 6 7 8

